

第5章 家庭との関係に関する集計結果

本章では、配偶者と日常的にどのように関わっているか、家事や育児などの分担をどの程度行っているかなど、家庭との関係について夫婦間の就業状況との関係も含めてクロス集計の結果を紹介する。配偶者票のデータも用いるが、性別や年齢などの基本属性は本人票のものを中心に使用する。

第1節 夫婦の協働状況

1. 配偶者の就業状況と希望

夫婦の協働状況を見る上で、まず配偶者の性別に就業状況および希望を確認しておく。

第5-1-1表を見ると、配偶者が男性（夫）の場合、ほぼ100%が就業している。女性（妻）の場合は、約6割が就業していて、3割が就業していないが将来的には就業したいと考えており、就業するつもりのない人の割合は1割未満である。

第5-1-1表 性別 配偶者の就業状況・希望 (%)

		TOTAL (N)	配偶者の就業状況・希望		
			就いている	就いていないが、将来就きたいと思っている	就いていないし、今度も働かないと思う
配偶者の性別	男性	100 (236)	99.2	0	0.8
	女性	100 (796)	60.2	30.0	9.8

第5-1-2表 属性別 配偶者（妻）の就業状況・希望 (%)

		TOTAL (N)	配偶者(妻)の就業状況・希望		
			就いている	就いていないが、将来就きたいと思っている	就いていないし、今度も働かないと思う
配偶者(妻)の年齢	20歳代	100 (51)	35.3	54.9	9.8
	30歳代	100 (354)	49.4	42.7	7.9
	40歳代	100 (302)	72.2	17.5	10.3
	50歳代	100 (87)	75.9	8.0	16.1
子どもの年齢	3歳未満	100 (139)	29.5	64.7	5.8
	3歳以上、小学校就学前	100 (183)	39.3	50.8	9.8
	小学生	100 (299)	58.2	34.4	7.4
	中学生	100 (153)	68.6	23.5	7.8
	中学生以下はいない	100 (213)	77.9	9.9	12.2
介護・介助が必要な家族員の有無	いる(同居している)	100 (37)	64.9	27.0	8.1
	いる(別居している)	100 (61)	59.0	34.4	6.6
	いない	100 (685)	60.1	29.8	10.1
家計の負担になっている負債の有無	ある	100 (474)	63.1	28.3	8.6
	ない	100 (312)	56.1	32.7	11.2

配偶者が男性の場合は就業していない人がほとんどいないため、配偶者が女性（妻）の場合に限定し、属性別に就業状況および希望について見ると（第5-1-2表）、妻の年齢階層別では、40歳代以上で就業している割合が7割を超えている。逆に、就業していないが将来的に希望している割合は30歳代以下で高い。また、就業を希望しない割合はどの年齢階層でも高くないが、最も高いのは50歳代の16.1%である。

子どもの年齢では、妻の年齢の場合と類似した傾向を示している。子どもの年齢が高いほうが、または中学生以下の子どもがいないほうが就業している割合が高い。就業していないが将来的に希望している割合は、逆に子どもの年齢が低いほうが割合が高くなっている。就業を希望しない割合については、子どもの年齢による差はほとんどないが、最も高いのは「中学生以下はいない」の12.2%である。

「介護・介助が必要な家族員の有無」については、特にそのような家族員が同居している場合には就業が困難であると考えられるが、「いない」場合と「いる」場合の割合の差はほとんどなかった。

「家計の負担になっている負債の有無」については、負債があるほうが就業への動機となると考えられ、実際に「ある」と答えているほうが就業している割合が高いものの、その差は小さい。

第5-1-3表 配偶者（妻）の非就業理由（%）

		TOTAL (N)	希望する 仕事が見つからないから	趣味など 仕事以外 にやりたい ことがある から	健康上の 理由から	経済的に 働く必要 がないから	家にいる 方が子ども のために 良いから	子育ての 負担が大き いから	家事の負 担が大き いから	親や病気 の家族の 世話をす るため	その他*	無回答
配偶者 (妻)の 年齢	20歳代	100 (33)	3.0	6.1	3.0	9.1	69.7	54.5	21.2	0	15.2	0
	30歳代	100 (179)	20.1	10.1	5.6	11.7	64.2	50.3	16.8	5.6	14.5	0
	40歳代	100 (84)	31.0	17.9	17.9	8.3	56.0	29.8	17.9	16.7	19.0	0
	50歳代	100 (21)	33.3	23.8	33.3	23.8	9.5	14.3	14.3	28.6	14.3	4.8
子ども の年齢	3歳未満	100 (98)	6.1	3.1	2.0	8.2	76.5	61.2	16.3	1.0	9.2	0
	3歳以上、小学校就学前	100 (111)	12.6	7.2	4.5	10.8	72.1	60.4	19.8	1.8	10.8	0
	小学生	100 (125)	33.6	11.2	8.0	8.8	69.6	48.0	16.0	7.2	17.6	0
	中学生	100 (48)	35.4	20.8	12.5	8.3	64.6	22.9	14.6	14.6	25.0	0
	中学生以下はいない	100 (47)	25.5	31.9	25.5	14.9	19.1	17.0	14.9	23.4	17.0	2.1
配偶者 (妻)の 就業希 望	就いていないが、将来 就きたいと思っている	100 (239)	26.4	7.5	7.5	7.1	63.6	46.4	16.7	7.9	16.3	0.4
	就いていないし、今後も 働かないと思う	100 (78)	9.0	28.2	19.2	24.4	44.9	32.1	19.2	14.1	14.1	0

*「その他」には、全体での回答率が低かった「家族が反対するから」、「学生だから」、「特に理由はない」が含まれている。

このように、妻の就業状況や希望に関しては、年齢あるいは子どもの年齢との関係が顕著に見られた。そこで第5-1-3表において、就業していない理由を妻の年齢階層別、子どもの年齢別、そして就業希望別に比べた。選択された理由として割合の水準が高いのは、「家にいる方が子どものために良いから」や「子育ての負担が大きいため」など子どもに関する項目である。

年齢階層別と子どもの年齢別の傾向は概ね一致している。例えば、「希望する仕事が見つからないから」は、30歳代以上で高く、子どもの年齢は小学生以上で高い。「趣味など仕事

以外にやりたいことがある」も年齢階層が高いほうが割合も高く、子どもの年齢も高いほうが割合が高い。「健康上の理由から」や「経済的に働く必要がないから」、そして「親の病気の家族の世話をするため」は、特に50歳代の割合が高い。

逆に、妻の年齢階層や子どもの年齢が低いほうが割合が高いのは、「家にいる方が子どものために良いから」や「子育ての負担が大きいから」である。子どもの年齢別に見ると、子どもの年齢が低いほうが割合が高いが、「中学生」でも6割を超えている。「子育ての負担が大きいから」に関しては、小学校就学前でいずれも6割を超えており、「小学生」でも5割近い割合となっている。

「家事の負担が大きいから」は、割合の水準は高くなく、年齢階層による差は小さい。

さらに、就業していない人について将来的に就業したいと考えているかどうかで比べてみると、「希望する仕事が見つからないから」は「将来就きたいと思っている」人の割合が高い。「趣味など仕事以外にやりたいことがある」や「健康上の理由から」、「経済的に働く必要がないから」、そして「親の病気の家族の世話をするため」については「今後も働かないと思う」人の割合が高い。家にいる方が子どものために良いから」や「子育ての負担が大きいから」は、割合の水準はどちらも高いが、いずれも「将来就きたいと思っている」人の割合のほうが高い。

2. 夫婦の協働状況

以上のように、配偶者の就業状況および希望を確認したが、家庭の状況を比較するため、本人と配偶者の就業状況の組み合わせから、協働世帯（夫婦ともに正社員）、半協働世帯（配偶者が非正社員）、片働世帯（配偶者は非就労）の3つの形態に分類した変数（夫婦の協働状況）を作成し、分析に使用する。ただし、20歳代の男女については既婚者が少ないため（第5-1-4表）分析の対象から除く。

第5-1-4表 性別・年齢階層別 夫婦の協働状況 (%)

		TOTAL (N)	協働世帯	半協働世帯	片働世帯
男性	20歳代	100 (22)	9.1	36.4	54.5
	30歳代	100 (307)	18.9	30.9	50.2
	40歳代	100 (341)	12.9	52.8	34.3
	50歳代	100 (148)	21.6	48.0	30.4
	合計	100 (818)	16.6	43.3	40.1
女性	20歳代	100 (13)	76.9	23.1	0
	30歳代	100 (82)	82.9	17.1	0
	40歳代	100 (124)	80.6	16.1	3.2
	50歳代	100 (36)	55.6	38.9	5.6
	合計	100 (255)	77.6	20.0	2.4

第5-1-4表は、夫婦の協働状況を回答者本人の性別・年齢階層別に分布を示したものである。50歳代の女性についても実数が少ないため参考程度とし、半協働世帯と片働世帯については言及しない。

それぞれの形態の分布を見ると、協働世帯の割合は、男性では50歳代が最も高く、30歳代が次に高い。女性は、50歳代の割合が若干低く、その他の年齢階層は8割前後となっている。半協働世帯については、男性は、40歳代以上の割合が5割前後と高い。片働世帯は、半協働世帯と逆に、40歳代未満の割合が5割程度で高い。

第5-1-5表 性別・子どもの年齢別 夫婦の協働状況 (%)

		TOTAL (N)	協働世帯	半協働世帯	片働世帯
男性	3歳未満	100 (144)	16.7	13.2	70.1
	3歳以上、小学校就学前	100 (187)	15.5	24.6	59.9
	小学生	100 (300)	14.0	44.3	41.7
	中学生	100 (158)	17.1	51.3	31.6
女性	3歳未満	100 (26)	76.9	23.1	0
	3歳以上、小学校就学前	100 (35)	88.6	11.4	0
	小学生	100 (68)	88.2	11.8	0
	中学生	100 (44)	86.4	13.6	0

第5-1-5表は、子どもの年齢別に夫婦の協働状況を見たものである。年齢階層別の分布には子どものいない夫婦も含まれているため、割合の水準は異なるものの、全体的な傾向は似ていると言える。協働世帯の割合は、子どもの年齢によって大きな違いは見られないが、男性の半協働世帯で子どもの年齢が高いほうが割合が高いのに対して、片働世帯では、子どもの年齢が低いほうが割合が高い。

第5-1-6表 性別・年収および負債の有無別 夫婦の協働状況 (%)

			TOTAL (N)	協働世帯	半協働世帯	片働世帯
年収	男性	100～300万円未満	100 (62)	19.4	45.2	35.5
		300～500万円未満	100 (238)	19.3	41.2	39.5
		500～700万円未満	100 (266)	16.5	40.6	42.9
		700～1,000万円未満	100 (209)	14.8	47.8	37.3
		1,000～2,000万円未満	100 (36)	2.8	50.0	47.2
	女性	100～300万円未満	100 (74)	77.0	21.6	1.4
		300～500万円未満	100 (91)	76.9	20.9	2.2
		500～700万円未満	100 (54)	83.3	16.7	0
		700～1,000万円未満	100 (28)	75.0	14.3	10.7
		1,000～2,000万円未満	100 (2)	50.0	50.0	0
負債の有無	男性	ある	100 (485)	17.1	45.8	37.1
		ない	100 (331)	15.7	39.6	44.7
	女性	ある	100 (144)	77.8	19.4	2.8
		ない	100 (110)	77.3	20.9	1.8

配偶者が働いていない理由について、経済的な理由をあげる割合はあまり多くなかったが（第5-1-3表）、子育ての負担には経済的な意味合いが含まれる可能性もあるので、経済状況と協働状況の関係についても見ておく（第5-1-6表）。年収との関係については、男性の場合、年収が低いほうが協働世帯の割合が若干高いが差は小さい。また、負担となる負債の有無については、女性の場合は差はないが、男性では半協働世帯で「ある」割合が若干高く、片働世帯では「ない」割合が若干高い。

最後に、夫婦の協働状況と仕事と生活のバランスについての満足度関係を見ておく（第5-1-7表）。「不満」と「少し不満」を合わせた割合では、男性は協働世帯の割合が最も高いが、他の世帯との差は大きくない。女性の協働世帯や半協働世帯の割合は、4割前後で男性と同じ水準となっている。

第5-1-7表 性別・夫婦の協働状況 仕事と生活のバランスの満足度（%）

		TOTAL (N)	満足	まあ満足	どちらとも言えない	少し不満	不満	無回答	不満+ 少し不満
TOTAL		100 (1528)	3.8	26.8	29.4	28.0	11.1	0.9	39.1
男性	協働世帯	100 (136)	2.2	27.9	25.0	34.6	8.8	1.5	43.4
	半協働世帯	100 (354)	3.1	26.3	30.8	27.7	10.7	1.4	38.4
	片働世帯	100 (328)	4.6	27.4	29.6	24.7	12.8	0.9	37.5
女性	協働世帯	100 (198)	2.5	24.7	29.8	32.3	9.6	1.0	41.9
	半協働世帯	100 (51)	5.9	25.5	31.4	25.5	11.8	0.0	37.3
	片働世帯	100 (6)	0	0	100.0	0	0	0	0

第2節 配偶者との関係

1. 回答者本人の配偶者との関係に対する意識

配偶者との日頃の関係についてどのように感じているか、本人票と配偶者票で6つの共通した項目でたずねている。まずは、それぞれの項目について、性別・年齢階層別の傾向を見ていく。ただし、前述のとおり、20歳代は既婚者が少ないため分析から除外する。

第5-2-1表 性別・年齢階層別 配偶者との関係：私を頼りにしてくれている（%）

		TOTAL (N)	まったく そのとおり	まあ そのとおり	あまり そうでない	まったく 違う	無回答	まったくその とおり+まあ そのとおり
男性	30歳代	100 (307)	28.0	62.9	8.1	0.3	0.7	90.9
	40歳代	100 (342)	32.7	57.3	9.4	0.3	0.3	90.1
	50歳代	100 (148)	35.1	52.0	10.8	0.7	1.4	87.2
	合計	100 (819)	31.9	58.0	9.2	0.4	0.6	89.9
女性	30歳代	100 (82)	19.5	63.4	15.9	1.2	0	82.9
	40歳代	100 (124)	23.4	62.9	9.7	2.4	1.6	86.3
	50歳代	100 (36)	44.4	50.0	5.6	0	0	94.4
	合計	100 (255)	25.5	61.2	11.0	1.6	0.8	86.7

「配偶者は私を頼りにしてくれている」については、男女とも「まったくそのとおり」と回答した割合が、年齢階層が高いほうが割合も高い傾向が見られるが、「まあそのとおり」を加えると、女性はその傾向が残るが男性はほとんど差がなくなる（第5-2-1表）。

第5-2-2表 性別・年齢階層別 配偶者との関係：私を理解してくれている（％）

		TOTAL (N)	まったく そのとおり	まあ そのとおり	あまり そうでない	まったく 違う	無回答	まったくその とおり+まあ そのとおり
男性	30歳代	100 (307)	25.4	61.9	11.4	0.7	0.7	87.3
	40歳代	100 (342)	22.5	64.0	12.0	1.2	0.3	86.5
	50歳代	100 (148)	26.4	57.4	14.2	0.7	1.4	83.8
	合計	100 (819)	25.0	61.5	12.0	0.9	0.6	86.6
女性	30歳代	100 (82)	22.0	59.8	17.1	1.2	0	81.7
	40歳代	100 (124)	12.9	58.1	24.2	3.2	1.6	71.0
	50歳代	100 (36)	33.3	50.0	13.9	2.8	0	83.3
	合計	100 (255)	19.6	57.3	20.0	2.4	0.8	76.9

「配偶者は私を理解してくれている」では、男性の場合は顕著な傾向は見られないが、女性の場合は「まったくそのとおり」でも、「まあそのとおり」を合わせた割合でも、40歳代の割合が少し低い（第5-2-2表）。

第5-2-3表 性別・年齢階層別 配偶者との関係：過ごす時間が十分にある（％）

		TOTAL (N)	まったく そのとおり	まあ そのとおり	あまり そうでない	まったく 違う	無回答	まったくその とおり+まあ そのとおり
男性	30歳代	100 (307)	13.0	38.4	42.0	5.9	0.7	51.5
	40歳代	100 (342)	9.9	44.4	38.9	6.4	0.3	54.4
	50歳代	100 (148)	10.1	48.6	36.5	3.4	1.4	58.8
	合計	100 (819)	12.1	42.6	39.2	5.5	0.6	54.7
女性	30歳代	100 (82)	7.3	43.9	34.1	13.4	1.2	51.2
	40歳代	100 (124)	7.3	33.9	49.2	8.9	0.8	41.1
	50歳代	100 (36)	19.4	41.7	33.3	5.6	0	61.1
	合計	100 (255)	8.6	38.0	43.1	9.4	0.8	46.7

「配偶者と過ごす時間が十分にある」では、男性の場合、「まったくそのとおり」と「まあそのとおり」を合わせた割合が、女性の場合は40歳代の割合が少し低い（第5-2-3表）。

「配偶者とよく会話している」では、「配偶者と過ごす時間が十分にある」と同様に、男性の場合は顕著な傾向は見られないが、女性の場合は40歳代の割合が少し低い（第5-2-4表）。

第5-2-4表 性別・年齢階層別 配偶者との関係：よく会話している（％）

		TOTAL (N)	まったく そのとおり	まあ そのとおり	あまり そうでない	まったく 違う	無回答	まったくその とおり+まあ そのとおり
男性	30歳代	100 (307)	20.2	48.5	30.0	0.7	0.7	68.7
	40歳代	100 (342)	17.8	50.6	28.1	2.9	0.6	68.4
	50歳代	100 (148)	18.9	45.9	30.4	3.4	1.4	64.9
	合計	100 (819)	20.1	48.5	28.6	2.1	0.7	68.6
女性	30歳代	100 (82)	18.3	52.4	23.2	6.1	0	70.7
	40歳代	100 (124)	5.6	48.4	37.1	8.1	0.8	54.0
	50歳代	100 (36)	22.2	47.2	27.8	2.8	0	69.4
	合計	100 (255)	12.5	49.4	31.4	6.3	0.4	62.0

「配偶者は私の趣味や行動を尊重してくれる」では、男性の場合は「まったくそのとおり」と回答した割合が年齢階層が低いほうが少し高い傾向が見られるが、「まあそのとおり」を加えると差がなくなる。女性の場合は50歳代の割合が少し高い（第5-2-5表）。

第5-2-5表 性別・年齢階層別 配偶者との関係：趣味や行動を尊重してくれる（％）

		TOTAL (N)	まったく そのとおり	まあ そのとおり	あまり そうでない	まったく 違う	無回答	まったくその とおり+まあ そのとおり
男性	30歳代	100 (307)	23.1	51.5	22.5	2.3	0.7	74.6
	40歳代	100 (342)	19.9	57.9	18.1	3.5	0.6	77.8
	50歳代	100 (148)	17.6	58.8	20.9	1.4	1.4	76.4
	合計	100 (819)	21.6	54.7	20.4	2.6	0.7	76.3
女性	30歳代	100 (82)	24.4	54.9	17.1	3.7	0	79.3
	40歳代	100 (124)	18.5	60.5	16.1	3.2	1.6	79.0
	50歳代	100 (36)	33.3	52.8	8.3	5.6	0	86.1
	合計	100 (255)	22.7	58.0	14.9	3.5	0.8	80.8

第5-2-6表 性別・年齢階層別 配偶者との関係：家事や育児をよくやってくれる（％）

		TOTAL (N)	まったく そのとおり	まあ そのとおり	あまり そうでない	まったく 違う	無回答	まったくその とおり+まあ そのとおり
男性	30歳代	100 (307)	56.7	38.4	3.6	0.7	0.7	95.1
	40歳代	100 (342)	47.7	45.9	4.7	1.2	0.6	93.6
	50歳代	100 (148)	44.6	43.9	8.1	1.4	2.0	88.5
	合計	100 (819)	50.9	42.5	4.8	1.0	0.9	93.4
女性	30歳代	100 (82)	14.6	48.8	29.3	7.3	0	63.4
	40歳代	100 (124)	12.1	36.3	34.7	15.3	1.6	48.4
	50歳代	100 (36)	16.7	41.7	30.6	11.1	0	58.3
	合計	100 (255)	13.7	40.8	32.5	11.8	1.2	54.5

「配偶者は家事や育児をよくやってくれる」では、「まったくそのとおり」と回答した割合が男性で高く、女性で低い（第5-2-6表）。「まあそのとおり」を合わせても、男性は9割前後となるが、女性は5～6割にとどまっている。家事や育児は第3節で詳しく見るように、夫婦の就業状況に関係なく妻が主に行っている。年齢階層別では、男性は年齢階層が低いほうが少し高いが、女性の場合は40歳代の割合が少し高い。

2. 配偶者との関係に対する意識についての本人と配偶者の比較

それぞれの項目について、「まったくそのとおり」と回答した本人票と配偶者票の割合を性別・年齢別に並べたのが第5-2-7表である¹。

第5-2-7表 性別・年齢階層別 夫婦の意識 (%)

		私を頼りにしてくれている		私を理解してくれている		過ごす時間が十分にある		よく会話している		私の趣味や行動を尊重してくれる		家事や子育てをよくやってくれる	
		本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者
男性	30歳代	28.0	31.4	25.4	25.1	13.0	15.7	20.2	26.8	23.1	34.4	56.7	29.4
	40歳代	32.7	24.9	22.5	21.3	9.9	13.8	17.8	18.9	19.9	24.3	47.7	16.5
	50歳代	35.1	38.7	26.4	27.0	10.1	14.6	18.9	19.0	17.6	28.5	44.6	22.6
	合計	31.9	30.5	25.0	24.3	12.1	15.5	20.1	22.7	21.6	29.6	50.9	23.3
女性	30歳代	19.5	41.0	22.0	32.1	7.3	12.8	18.3	21.8	24.4	20.5	14.6	47.4
	40歳代	23.4	36.8	12.9	28.2	7.3	13.7	5.6	14.5	18.5	29.9	12.1	48.7
	50歳代	44.4	40.0	33.3	40.0	19.4	8.0	22.2	12.0	33.3	20.0	16.7	36.0
	合計	25.5	37.7	19.6	30.3	8.6	13.0	12.5	17.3	22.7	26.0	13.7	47.6

* 「まったくそのとおり」と回答した割合。合計には20歳代も含まれる。

「私を頼りにしてくれている」では、男性が本人の場合、40歳代で本人の割合が配偶者より若干高いが、その他の年齢階層での差は小さい。女性が本人の場合は、30歳代も40歳代も配偶者の割合が高い。妻がフルタイムで就業していることで、夫が家庭のことに関わるが多くなるからであろう。

「私を理解してくれている」や「過ごす時間が十分にある」では、本人が男性の場合は配偶者との顕著な割合の差は見られない。本人が女性の場合は、「私を頼りにしてくれている」と同様に、30歳代も40歳代も配偶者の割合のほうが高い。

「よく会話している」では、男性が本人の場合に30歳代で配偶者の割合ほうが少し高いが、女性の場合は同様の傾向が40歳代で見られる。

「私の趣味や行動を尊重してくれる」では、本人が男性の場合、年齢階層に関係なく配偶者の割合のほうが高い。女性の場合は、40歳代で同様の傾向が見られる。

「家事や子育てをよくやってくれている」では、夫（本人もしくは配偶者が男性）の割合が妻（本人もしくは配偶者が女性）よりも常に高い。本人が女性の場合はフルタイムで働いているので、本人が男性の場合の配偶者と比べて割合の水準が低い。本人が男性の場合は、30歳代の割合が本人も配偶者も最も高い。子どもが小さいからだろう。

¹ 女性の50歳代は実数が少ないため参考程度とする。

第5-2-8表 性別・子どもの年齢別 夫婦の意識 (%)

		私を頼りにしてくれている		私を理解してくれている		過ごす時間が十分にある		よく会話している		私の趣味や行動を尊重してくれる		家事や子育てをよくやってくれる	
		本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者
男性	3歳未満	34.7	32.4	30.6	26.6	17.4	19.4	22.2	26.6	27.8	35.3	68.8	31.7
	3歳以上、小学校就学前	28.9	30.6	23.0	23.0	10.7	10.9	13.9	19.7	17.6	25.7	58.3	28.4
	小学生	30.9	24.4	22.3	18.1	9.3	11.0	16.9	19.4	19.9	25.1	49.2	25.4
	中学生	35.2	23.5	20.8	20.3	10.1	15.0	20.8	21.6	20.8	28.1	47.8	21.6
	中学生以下はいない	31.4	37.1	27.9	28.6	15.0	19.2	25.7	24.9	22.6	32.9	47.8	17.8
女性	3歳未満	23.1	32.0	23.1	20.0	7.7	8.0	15.4	28.0	30.8	24.0	19.2	72.0
	3歳以上、小学校就学前	25.7	41.2	17.1	32.4	2.9	5.9	8.6	20.6	14.3	26.5	11.4	55.9
	小学生	17.6	39.7	13.2	29.4	1.5	10.3	5.9	11.8	14.7	20.6	16.2	44.1
	中学生	22.7	43.2	18.2	20.5	2.3	9.1	4.5	9.1	15.9	20.5	13.6	43.2
	中学生以下はいない	31.6	37.5	22.8	34.4	14.0	15.6	17.5	16.7	28.9	30.2	11.4	45.8

* 「まったくそのとおり」と回答した割合。

子どもの年齢別に割合の分布を比べてみると（第5-2-8表）、まず「私を頼りにしてくれている」については、本人が男性の場合に子どもの年齢が低いほう（特に小学校就学前）が配偶者の割合も高いが、本人は3割程度で大きな違いはない。本人が女性の場合は、すべて配偶者の割合のほうが高い。

「私を理解してくれている」では、本人が女性の場合に「3歳以上、小学校就学前」と「小学生」で配偶者のほうが割合が高い。また女性の場合、「よく会話している」で「中学生以下はいない」を除き、配偶者の割合のほうが高い。

「私の趣味や行動を尊重してくれる」では、本人が男性の場合は配偶者の割合のほうが高く、女性の場合も3歳以上で中学生までは配偶者の割合が高い。

「家事や子育てをよくやってくれている」では、年齢階層別の結果と同じく、夫の割合が妻よりも常に高く、本人が男性の場合の配偶者と比べて本人が女性の割合の水準が低い。子どもが小さいほうが割合も高くなる傾向が見られるが、本人が女性の場合はあまり差がない。

第5-2-9表 性別・協働状況別 夫婦の意識 (%)

		私を頼りにしてくれている		私を理解してくれている		過ごす時間が十分にある		よく会話している		私の趣味や行動を尊重してくれる		家事や子育てをよくやってくれる	
		本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者
男性	協働世帯	88.2	89.7	87.5	84.6	59.6	59.6	70.6	64.7	80.9	77.9	70.6	89.0
	半協働世帯	85.5	89.5	82.0	86.7	59.2	52.5	73.7	69.2	83.1	76.8	64.2	92.4
	片働世帯	87.5	90.2	78.2	87.2	57.4	55.2	69.9	69.5	81.7	75.0	61.2	96.3
	合計	86.8	89.9	81.4	86.6	58.5	54.8	71.6	68.6	82.2	76.3	64.1	93.4
女性	協働世帯	88.9	84.8	87.9	77.8	46.0	46.0	62.6	59.6	80.3	82.3	92.9	55.1
	半協働世帯	83.9	92.2	71.0	74.5	48.4	47.1	67.7	70.6	64.5	74.5	87.1	56.9
	片働世帯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	87.9	86.7	85.3	76.9	46.3	46.7	63.2	62.0	78.4	80.8	92.2	54.5

* 「まったくそのとおり」と回答した割合。

協働状況別に本人と配偶者の割合を比べた場合（第5-2-9表）は、本人が男性の「家事や子育てをよくやってくれている」を除いたすべての項目において、協働世帯の配偶者の割合が本人よりも高くなっている。

男性が本人の場合は、半協働世帯で「家事や子育てをよくやってくれている」を除いたすべての項目において、本人と配偶者の差はほとんど見られない。片働世帯については「私を頼りにしてくれている」と「私を理解してくれている」では、本人の割合が配偶者よりも高く、「よく会話している」と「私の趣味や行動を尊重してくれる」では配偶者の割合のほうが高い。

「家事や子育てをよくやってくれている」では、本人が女性の場合は本人の割合が低く、配偶者の割合は比較的高い。本人が男性の場合は、協働世帯では本人と配偶者の差はほとんどないが、半協働世帯ではその差は約25ポイントとなり、片働世帯では40ポイント以上となる。

第5-2-10表 総労働時間別 夫婦の意識 (%)

		私を頼りにしてくれている		私を理解してくれている		過ごす時間が十分にある		よく会話している		私の趣味や行動を尊重してくれる		家事や子育てをよくやってくれる	
		本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者
男性	1～160時間未満	38.1	39.3	28.6	31.1	20.6	27.9	25.4	34.4	27.0	32.8	52.4	29.5
	160～180時間未満	33.3	34.5	29.1	24.8	13.7	17.7	24.8	23.0	25.6	29.2	50.4	22.1
	180～200時間未満	29.3	32.9	22.2	21.7	14.4	19.3	22.2	25.5	19.2	32.3	49.7	28.6
	200～240時間未満	31.3	26.8	25.8	23.2	10.9	13.4	19.1	20.7	19.9	26.4	50.0	20.3
	240時間以上	32.8	27.2	23.4	24.5	7.8	8.7	16.1	19.0	22.4	29.9	51.0	20.7
女性	1～160時間未満	29.3	38.9	19.5	38.9	12.2	13.9	17.1	33.3	24.4	30.6	17.1	55.6
	160～180時間未満	29.1	41.4	24.1	35.7	13.9	17.1	16.5	17.1	21.5	25.7	15.2	42.9
	180～200時間未満	19.1	37.5	13.2	21.9	5.9	10.9	7.4	14.1	22.1	28.1	8.8	46.9
	200～240時間未満	25.0	37.8	17.5	29.7	5.0	13.5	15.0	13.5	17.5	18.9	15.0	51.4
	240時間以上	18.2	30.0	36.4	30.0	0.0	10.0	9.1	10.0	36.4	20.0	36.4	50.0

労働時間が長いと夫婦が一緒にいる時間も制限され、互いのコミュニケーションに影響することも考えられる。そこで第5-2-10表において、1ヶ月間の総労働時間によるそれぞれの意識の違いを見た。本人と配偶者に比較的顕著に見られた傾向は、やはり「過ごす時間が十分にある」と「よく会話している」について、労働時間が長いほうが割合も低い。

第5-2-11表 超過労働の頻度別 夫婦の意識 (%)

		私を頼りにしてくれている		私を理解してくれている		過ごす時間が十分にある		よく会話している		私の趣味や行動を尊重してくれる		家事や子育てをよくやってくれる	
		本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者	本人	配偶者
男性	よくある	33.9	28.6	24.9	24.4	9.1	12.2	18.5	23.7	22.9	30.6	51.4	22.8
	ときどきある	30.0	31.6	23.3	22.5	14.6	17.7	20.4	20.3	19.2	27.7	49.2	23.8
	ほとんどない	28.2	33.9	28.2	27.5	17.1	22.9	25.6	22.9	21.4	30.3	50.4	24.8
女性	よくある	27.5	32.3	21.7	29.0	2.9	9.7	10.1	8.1	24.6	25.8	14.5	45.2
	ときどきある	17.7	34.5	16.7	27.6	6.3	11.5	7.3	19.5	17.7	23.0	9.4	47.1
	ほとんどない	33.3	42.1	22.6	35.5	16.7	15.8	21.4	21.1	27.4	28.9	16.7	50.0

今度は所定労働時間を超えて働くこと（超過労働）がどの程度あるかによる違いを見ると（第5-2-11表）、ここでもやはり「過ごす時間が十分にある」と「よく会話している」について、超過労働の頻度が高いほうが割合も高い傾向が、本人と配偶者に共通して見られた。

第3節 家事や子育てなどの分担

家事や育児の分担については、就業の有無に関わらず主に妻が行うことが多い。ここでは家事や育児に関する7つの項目について、回答者本人の年齢階層や子どもの年齢、夫婦の協働状態、そして労働時間によって分担の程度に違いがあるのか検討する。

まず、本人の性別・年齢階層別に分担の状況を確認する。

「食事の準備」については、男女とも40歳代で「ほぼ全て妻が行い、夫はしない」の割合が高い。女性の30歳代で「夫婦で半々」の割合が14.1%と1割を超えている。

第5-3-1表 本人の性別・年齢別 家事・育児の分担：食事の準備（%）

		TOTAL (N)	ほぼ全て妻 が行い、夫は しない	妻が7-8割、 夫が2-3割	夫婦で半々	妻が2-3割、 夫が7-8割	ほぼ全て夫 が行い、妻は しない	無回答
男性	30歳代	100 (299)	68.9	24.7	4.3	2.0	0	0
	40歳代	100 (333)	75.1	21.3	2.4	0.9	0	0.3
	50歳代	100 (137)	69.3	21.9	5.8	1.5	0	1.5
	合計	100 (787)	71.4	22.9	3.8	1.4	0	0.5
女性	30歳代	100 (78)	60.3	23.1	14.1	0	0	2.6
	40歳代	100 (117)	66.7	28.2	4.3	0	0.9	0
	50歳代	100 (25)	60.0	20.0	4.0	8.0	8.0	0
	合計	100 (231)	62.8	26.8	7.4	0.9	1.3	0.9

「食後の後片付け」は、「食事の準備」と比べると「ほぼ全て妻が行い、夫はしない」の割合が10ポイント程度低い。男女ともに30歳代の割合が低い。また、女性の30歳代で「夫婦で半々」の割合が16.7%となっている。

第5-3-2表 本人の性別・年齢別 家事・育児の分担：食後の後片付け（%）

		TOTAL (N)	ほぼ全て妻 が行い、夫は しない	妻が7-8割、 夫が2-3割	夫婦で半々	妻が2-3割、 夫が7-8割	ほぼ全て夫 が行い、妻は しない	無回答
男性	30歳代	100 (299)	59.2	27.1	6.4	5.7	0.7	1.0
	40歳代	100 (333)	64.9	25.8	5.7	2.1	0.6	0.9
	50歳代	100 (137)	68.6	24.1	3.6	2.9	0	0.7
	合計	100 (787)	63.2	25.9	5.7	3.7	0.6	0.9
女性	30歳代	100 (78)	48.7	24.4	16.7	7.7	0	2.6
	40歳代	100 (117)	57.3	31.6	4.3	5.1	1.7	0
	50歳代	100 (25)	52.0	24.0	16.0	8.0	0	0
	合計	100 (231)	52.8	29.4	9.5	6.5	0.9	0.9

第5-3-3表 本人の性別・年齢別 家事・育児の分担：洗濯（％）

		TOTAL (N)	ほぼ全て妻 が行い、夫は しない	妻が7-8割、 夫が2-3割	夫婦で半々	妻が2-3割、 夫が7-8割	ほぼ全て夫 が行い、妻は しない	無回答
男性	30歳代	100 (299)	74.9	19.1	4.0	1.3	0.7	0
	40歳代	100 (333)	77.5	15.9	3.3	2.1	0.3	0.9
	50歳代	100 (137)	75.9	13.9	7.3	2.9	0	0
	合計	100 (787)	75.9	17.0	4.4	1.9	0.4	0.4
女性	30歳代	100 (78)	59.0	14.1	16.7	6.4	2.6	1.3
	40歳代	100 (117)	64.1	24.8	2.6	5.1	2.6	0.9
	50歳代	100 (25)	72.0	20.0	4.0	0	4.0	0
	合計	100 (231)	62.8	21.2	7.8	4.8	2.6	0.9

「洗濯」は、男性の「ほぼ全て妻が行い、夫はしない」割合がすべての年齢階層で75%前後と高い。女性の場合は、「食事の後片付け」と同様に、30歳代で「夫婦で半々」の割合が16.7%となっている。

第5-3-4表 本人の性別・年齢別 家事・育児の分担：掃除（％）

		TOTAL (N)	ほぼ全て妻 が行い、夫は しない	妻が7-8割、 夫が2-3割	夫婦で半々	妻が2-3割、 夫が7-8割	ほぼ全て夫 が行い、妻は しない	無回答
男性	30歳代	100 (299)	62.5	25.1	9.0	2.3	0.7	0.3
	40歳代	100 (333)	61.9	28.8	5.1	3.0	0.9	0.3
	50歳代	100 (137)	62.0	25.5	7.3	2.9	0	2.2
	合計	100 (787)	62.3	26.8	7.0	2.7	0.6	0.6
女性	30歳代	100 (78)	47.4	30.8	16.7	3.8	1.3	0
	40歳代	100 (117)	57.3	27.4	11.1	2.6	1.7	0
	50歳代	100 (25)	64.0	20.0	16.0	0	0	0
	合計	100 (231)	53.2	29.4	13.0	3.0	1.3	0

「掃除」については、男性の場合は「妻が2-3割、夫が7-8割」ですべての年齢階層で25%を超えているが、「夫婦で半々」以下は割合が低い。女性では、「夫婦で半々」はすべての年齢階層で1割を超えている。

第5-3-5表 本人の性別・年齢別 家事・育児の分担：食料品・日用品の買い物（％）

		TOTAL (N)	ほぼ全て妻 が行い、夫は しない	妻が7-8割、 夫が2-3割	夫婦で半々	妻が2-3割、 夫が7-8割	ほぼ全て夫 が行い、妻は しない	無回答
男性	30歳代	100 (299)	42.8	40.1	16.4	0.7	0	0
	40歳代	100 (333)	46.2	41.7	10.8	0.9	0	0.3
	50歳代	100 (137)	43.1	41.6	13.1	1.5	0	0.7
	合計	100 (787)	43.8	41.2	13.6	1.1	0	0.3
女性	30歳代	100 (78)	34.6	37.2	25.6	2.6	0	0
	40歳代	100 (117)	50.4	36.8	12.0	0.9	0	0
	50歳代	100 (25)	56.0	24.0	16.0	4.0	0	0
	合計	100 (231)	45.0	35.9	17.3	1.7	0	0

「食料品・日用品の買い物」では、男性の「ほぼ全て妻が行い、夫はしない」の割合がすべての年齢階層で5割を下回っていて、「夫婦で半々」の割合が1割を超えている。女性の場合、30歳代の「夫婦で半々」の割合が25.6%となっている。

第5-3-6表 本人の性別・年齢別 家事・育児の分担：育児・子どもの世話（％）

		TOTAL (N)	ほぼ全て妻 が行い、夫は しない	妻が7-8割、 夫が2-3割	夫婦で半々	妻が2-3割、 夫が7-8割	ほぼ全て夫 が行い、妻は しない	無回答
男性	30歳代	100 (255)	14.5	60.8	22.7	1.2	0	0.8
	40歳代	100 (299)	27.4	53.2	16.1	1.0	0	2.3
	50歳代	100 (110)	37.3	42.7	15.5	1.8	0	2.7
	合計	100 (674)	23.9	54.6	18.4	1.3	0	1.8
女性	30歳代	100 (60)	18.3	56.7	21.7	1.7	0	1.7
	40歳代	100 (98)	25.5	59.2	14.3	0	0	1.0
	50歳代	100 (18)	50.0	22.2	11.1	5.6	0	11.1
	合計	100 (183)	24.6	55.7	15.8	1.1	0	2.7

「育児・子どもの世話」については、男女とも「ほぼ全て妻が行い、夫はしない」の割合は低く、「妻が2-3割、夫が7-8割」の割合が高くなっている。「夫婦で半々」の割合も、男性の30歳代で2割を超えている。

第5-3-7表 本人の性別・年齢別 家事・育児の分担：介護・介助（％）

		TOTAL (N)	ほぼ全て妻 が行い、夫は しない	妻が7-8割、 夫が2-3割	夫婦で半々	妻が2-3割、 夫が7-8割	ほぼ全て夫 が行い、妻は しない	無回答
男性	30歳代	100 (48)	20.8	14.6	14.6	2.1	4.2	43.8
	40歳代	100 (85)	37.6	17.6	11.8	3.5	1.2	28.2
	50歳代	100 (56)	37.5	23.2	12.5	1.8	0	25.0
	合計	100 (189)	33.3	18.5	12.7	2.6	1.6	31.2
女性	30歳代	100 (13)	23.1	15.4	15.4	15.4	0	30.8
	40歳代	100 (42)	40.5	28.6	11.9	4.8	2.4	11.9
	50歳代	100 (12)	41.7	16.7	8.3	0	0	33.3
	合計	100 (68)	36.8	23.5	11.8	5.9	1.5	20.6

「介護・介助」は、男女とも該当者が少ないが、該当する人の中では「ほぼ全て妻が行い、夫はしない」の割合が最も高いが、「夫婦で半々」以上で分布が分散している。

全体の傾向として、「ほぼすべて妻が行い、夫はしない」と回答した割合が高く、年齢階層間では30歳代が他の年齢階層に比べると夫婦間の分担が若干進んでいるようだ。特に女性の30歳代で「夫婦で半々」と答える割合が少し高い。

さて、ここからは、それぞれの項目について「ほぼすべて妻が行い、夫はしない」を選択した割合を比べる。全体の割合の水準としては、「食事の準備」や「食後の後片付け」、「洗濯」、「掃除」などは男女とも5割を超えていて、妻が担当することが多い。「食料品・日用品の買い物」や「介護・介助」は、これらに比べると少し割合が低く、「育児・子どもの世

話」の割合が最も低い。男女別で比べた場合、後者の項目群ではほとんど差はないが、前者の項目群では男性の割合のほうが女性よりも10ポイント程度高い。つまり、妻がフルタイムのため、それらについては夫婦間でより分担が行われていると考えられる。

第5-3-8表 本人の性別・年齢別 家事・育児の分担（%）

		食事の準備	食後の後片付け	洗濯	掃除	食料品・日用品の買い物	育児・子どもの世話	介護・介助
男性	30歳代	68.9	59.2	74.9	62.5	42.8	14.5	20.8
	40歳代	75.1	64.9	77.5	61.9	46.2	27.4	37.6
	50歳代	69.3	68.6	75.9	62.0	43.1	37.3	37.5
	合計	71.4	63.2	75.9	62.3	43.8	23.9	33.3
女性	30歳代	60.3	48.7	59.0	47.4	34.6	18.3	23.1
	40歳代	66.7	57.3	64.1	57.3	50.4	25.5	40.5
	50歳代	60.0	52.0	72.0	64.0	56.0	50.0	41.7
	合計	62.8	52.8	62.8	53.2	45.0	24.6	36.8

* 「ほぼ全て妻が行い、夫はしない」と回答した割合。合計には20歳代も含まれる。

まず年齢階層別に比べてみると（第5-3-8表）、「食事の準備」については男女とも40歳代の割合が若干高い。「食事の後片付け」は、本人が男性の場合に年齢階層が高いほうが割合も少し高い。「洗濯」や「掃除」そして「食料品・日用品の買い物」は、本人が男性の場合は顕著な差は見られないが、女性の場合は年齢階層が高いほうが割合も高い。「育児・子どもの世話」は、男女とも年齢階層が上がるごとに割合も上がる。「介護・介助」は、男女とも30歳代の割合が低い。全体としては、男女とも30歳代の割合が低い傾向が見られ、家事や育児の分担が他の年齢階層より行われている。

第5-3-9表 末子年齢別 家事・育児の分担（%）

		食事の準備	食後の後片付け	洗濯	掃除	食料品・日用品の買い物	育児・子どもの世話	介護・介助
男性	3歳未満	71.2	54.7	77.0	62.6	36.0	8.6	17.6
	3歳以上、小学校就学前	71.6	60.1	73.8	66.7	45.4	13.7	22.2
	小学生	71.9	60.9	76.9	61.2	51.5	20.7	33.8
	中学生	75.8	67.3	79.7	62.7	45.8	27.2	51.2
	合計	71.6	61.7	76.0	63.1	44.4	19.1	36.0
女性	3歳未満	56.0	28.0	64.0	28.0	32.0	8.0	25.0
	3歳以上、小学校就学前	52.9	38.2	50.0	23.5	29.4	2.9	20.0
	小学生	55.9	52.9	57.4	44.1	44.1	20.6	23.5
	中学生	70.5	61.4	61.4	59.1	65.9	27.9	23.1
	合計	59.3	48.9	59.3	45.9	43.0	17.1	26.7

* 「ほぼ全て妻が行い、夫はしない」と回答した割合。「中学生以下はいない」については、もともと子どもがいない場合や子どもが中学生以上である場合などが考えられるため、分析から除外した。

今度は末子年齢で比べてみると、子どもの年齢が上がると割合も高くなる傾向が見られる（第5-3-9表）。つまり、子どもが小さいほうが家事や育児の分担もより行われている。特に本人が女性の場合は、「食後の後片付け」や「掃除」、「食料品・日用品の買い物」そして

「育児・子どもの世話」で小学校就学以降の割合が大きくなっている。子どもの小学校就学によって、家庭の生活様式に変化が生じていることが考えられる。

夫婦の協働状態別では、いずれの項目でも協働世帯の割合が最も低い（第5-3-10表）。お互いがフルタイムで働いているため、家庭内のことについて調整しなければならないことが多くなる。しかし、妻が就業していても、半協働世帯の割合は片働世帯とあまり変わらない。

第5-3-10表 夫婦の協働状態別 家事・育児の分担（％）

	食事の準備	食後の後片付け	洗濯	掃除	食料品・日用品の買い物	育児・子どもの世話	介護・介助
協働世帯	59.3	49.4	57.2	48.5	38.6	19.4	27.7
半協働世帯	71.0	62.9	74.8	59.1	46.1	27.4	36.2
片働世帯	78.3	70.7	87.6	74.2	47.8	24.9	41.2
合計	69.4	60.9	73.0	60.3	44.1	24.1	34.4

* 「ほぼ全て妻が行い、夫はしない」と回答した割合。世帯に関する事なので、性別に分けなかった。

第5-3-11表は、第5-3-10表を子どもの年齢別に分けたものである。片働世帯については子どもの年齢による違いはあまり大きくない。「食後の後片付け」については子どもの年齢が低いほうが割合も低いが、最も低くても60.2%である。半協働世帯については、「食事の準備」や「食後の後片付け」、「掃除」などが「3歳未満」とそれ以上との割合の差が比較的大きい。協働世帯は、「食後の後片付け」や「掃除」、「食料品・日用品の買い物」そして「育児・子どもの世話」で小学校就学以降の割合が高く、第5-3-2表の本人が女性の場合の結果で見られた傾向と一致している。

第5-3-11表 夫婦の協働状態別・子どもの年齢別 家事・育児の分担（％）

		食事の準備	食後の後片付け	洗濯	掃除	食料品・日用品の買い物	育児・子どもの世話	介護・介助
協働世帯	3歳未満	59.1	34.1	54.5	31.8	25.0	4.5	14.3
	3歳以上、小学校就学前	46.7	36.7	43.3	25.0	25.0	3.3	18.2
	小学生	53.9	47.1	54.9	41.2	36.3	15.7	20.7
	中学生	66.2	56.9	55.4	55.4	52.3	20.6	27.3
半協働世帯	3歳未満	59.1	40.9	63.6	45.5	40.9	13.6	0
	3歳以上、小学校就学前	76.1	54.3	65.2	58.7	39.1	2.2	28.6
	小学生	70.5	59.0	72.7	58.3	52.5	19.4	30.3
	中学生	79.5	68.7	85.5	65.1	51.8	34.1	61.9
片働世帯	3歳未満	75.5	60.2	86.7	71.4	38.8	9.2	33.3
	3歳以上、小学校就学前	77.5	68.5	86.5	79.3	54.1	20.7	18.8
	小学生	79.2	70.4	89.6	72.0	59.2	26.4	50.0
	中学生	77.1	75.0	87.5	66.7	45.8	25.0	50.0

* 「ほぼ全て妻が行い、夫はしない」と回答した割合。

家事や育児の分担は、家庭で過ごす時間とも関係するだろう。そこでまず、1ヶ月間の総労働時間による違いを見たのが第5-3-12表である。はっきりとした傾向は読み取れないが、本人が男性の場合にはいずれの項目についても「240時間以上」で割合が最も高くなっている。一方、女性の場合は「160～180時間未満」の割合が最も高い。

第5-3-12表 総労働時間別 家事・育児の分担（％）

		食事の準備	食後の後片付け	洗濯	掃除	食料品・日用品の買い物	育児・子どもの世話	介護・介助
男性	1～160時間未満	70.5	60.7	72.1	54.1	37.7	25.5	31.6
	160～180時間未満	72.6	61.1	70.8	58.4	42.5	22.8	38.9
	180～200時間未満	68.9	60.2	73.3	62.1	42.2	16.7	18.2
	200～240時間未満	70.3	63.4	75.2	58.1	40.7	23.8	31.3
	240時間以上	74.5	67.4	82.1	73.4	52.2	31.0	42.9
	合計	71.4	63.1	75.6	62.4	43.8	23.9	33.5
女性	1～160時間未満	63.9	47.2	52.8	55.6	30.6	20.0	22.2
	160～180時間未満	68.6	58.6	70.0	58.6	52.9	34.0	42.1
	180～200時間未満	60.9	51.6	64.1	50.0	46.9	23.2	39.1
	200～240時間未満	62.2	56.8	56.8	54.1	45.9	21.4	36.4
	240時間以上	60.0	50.0	60.0	40.0	40.0	14.3	33.3
	合計	64.1	53.9	62.7	53.9	45.6	25.1	36.9

* 「ほぼ全て妻が行い、夫はしない」と回答した割合。

超過労働の頻度による違いでは（第5-3-13表）、本人が男性の場合は、「介護・介助」で「ほとんどない」と答えた人の割合がその他のカテゴリーより少し低く、「育児・子どもの世話」で超過労働の頻度が高いほうが割合も高い傾向があるが、全体的に顕著な傾向は見られない。女性の場合は、「食事の準備」や「掃除」については「ほとんどない」と答えた人の割合が少し高い。

第5-3-13表 超過労働の頻度別 家事・育児の分担（％）

		食事の準備	食後の後片付け	洗濯	掃除	食料品・日用品の買い物	育児・子どもの世話	介護・介助
男性	よくある	73.7	64.3	76.3	64.5	43.5	25.5	35.1
	ときどきある	66.7	59.7	73.6	58.4	43.3	22.4	34.5
	ほとんどない	72.5	65.1	78.0	63.3	46.8	18.9	24.2
	合計	71.4	63.2	75.9	62.3	43.8	23.9	33.3
女性	よくある	59.7	54.8	58.1	46.8	43.5	25.0	37.5
	ときどきある	60.9	55.2	70.1	52.9	48.3	24.7	36.8
	ほとんどない	69.7	48.7	57.9	59.2	44.7	25.9	39.1
	合計	62.8	52.8	62.8	53.2	45.0	24.6	36.8

* 「ほぼ全て妻が行い、夫はしない」と回答した割合。

全体として、家事や育児の分担が妻に偏っている傾向が見られた。女性がフルタイムで働いている場合でも、状況に大きな違いは見られなかった。子どもの年齢など、家族のライフステージによっても分担の仕方に違いが生じると考えられる。